

キリストがすべて

第153号 2016年12月1日発行



CONTENTS	Page
巻頭言	1
特集	2
夏の報告特集	
教員の活動	6
ニュース	8
卒業生からの手紙	10
支援会ニュース	11
Information	14

- ① シオン祭
- ② 異文化実習 タイ
- ③ 家族寮リトリート
- ④ 菊池准教授の発掘調査
- ⑤ 日本伝道会議(写真:クリスチャン新聞提供)



TCCUのホップ・ステツプ・ジャンプ

大学院研究科委員長

山口陽一

「TCCUではどのような人を育てるのか?」現在、教職員と理事会をあげて、学生の協力も得ながら、このもつとも大切なことを再確認しています。3つの神学校から、大学と研究所・神学校の時期を経て、大学・大学院・専攻科となったTCCUのホップ・ステツプ・ジャンプです。

ホップ(信仰と召命)

入学者は全員がクリスチャンです。しかもキリストへの献身を志す人たちです。世界中から教派を超えて集まってくる学生たちは、ここで信仰を育まれます。自分を知り、神を知り、現代の社会にクリスチャンとして生きる力身につけます。それは広い神学の学びと教会実習、寮での生活によって実現されます。それぞれが神の召命を知り、教会教職者と世界に奉仕するクリスチャンリーダーの基礎力を身に付けます。

ステツプ

(リベラルアーツと専門教育)

本学は、個性的な3つの神学校が賜物を結集させた、福音主義に立つ

超教派の大学・大学院です。キリスト教世界観に立つリベラルアーツ教育を、少人数の国際的環境の中で実現するだけでなく、福祉、国際、神学、教会教職、教会音楽の各分野で高い専門性を身に付け、それぞれの召命に応じて「神の国」のために「協働する人」を育てます。

ジャンプ

(TCCUが養成する人間像)

本学の「建学の精神」には、育成すべき人間像として「福音を肌で感じさせる人材」があります。モットーの「キリストがすべて」は、私たちの世界観でありミッション・ステイトメントでもあります。前身校のモットーをたどれば、共立女子聖書学院は「仕えられるためではなく仕えるために」、東京基督教短期大学は「キリストを知りキリストを知らしめるために」、東京基督教神学校は「神のことばとイエスのあかしとのゆえに」です。これから長年培われた精神を結集し、継承し、発展させ、次年度から新たなコンセプトを立ててジャンプしようと思えます。ご期待ください。



東京基督教大学

特集 ● 夏の報告

今号の特集では、夏期休暇中に実施された学生の実習を中心に、教員の研究活動や10月10日に行われたシオン祭についての報告を紹介します。

異文化 実習

タイ異文化実習報告

国際キリスト教専攻3年 湯本 愛菜

私は、北タイの山岳少数民族であるミエン族の文化と、地域教会における宣教活動について学びました。滞在期間中、有澤宣教師のご指導の下、日本とミエン族の非言語コミュニケーションについて調査する機会がありました。

その中でミエン族の、特に年配の方は目を合わさないと壁や天井を見ながら会話することが分かりました。目を見て話すことは、物珍しさや疑い、見下し等、敵対の意味を持ちます。しかし日本では、会話する際に目を合わせなければ、不快感や不快感な

どがあります。同じアジアでも、日本の感覚では理解できないことを、異文化体験の中で多く感じました。

このインタビューから、自分の中にある基準で人の態度や行動を判断するのではなく、まず理解しようとするのが大切であると思われました。その人の行動が文化的背景から来るのか、どのような考えを持っているのか関心を持つことは、人を愛することにも通ずると思います。祈り、サポートしてくださった方々に感謝いたします。

フィリピン異文化実習を通して

国際キリスト教専攻3年 石川 健太

私は、フィリピンに一月滞在しました。そこで、現地のNGOのプロジェクトに参加しました。それを通して、文化だけではなく、境遇、人格、価値観など様々な違いを越えて、受け入れることの難しさや、理解することの大切さを実感しました。

私たちは、日本の豊かさの中であらゆる社会サービスを当たり前として暮らしてしまいがちですが、そのことで自分の真の姿や、神の姿すらも歪めていることに気づきました。また、貧困とい

う状況の中で、その人々なりの人生があることを忘れてはなりません。朝起きて、道に出て、お金や食べ物を探しに、あるいは物を乞いをする人までいました。

学びができること、食べ物があること、家族がいること、命があることなど日々の生活を見直す貴重な時間でした。当たり前のことを当たり前だと思わず、感謝の気持ちを忘れずにこれからも主の僕として歩み続けていきたいです。



介護実習 報告

コミュニケーションを通して

キリスト教福祉学専攻4年 永井 理香



実習報告ケーススタディ発表会の様子

24日間の介護実習の中で得た学びは多くありますが、特に印象に残った出来事は、ある利用者さんとの関わりの中で少しずつ信頼関係を築けたという経験を得たことです。4年生の実習では一人の利用者さんの情報収集を行い、介護計画を立て実践します。その中で「あなたの名前は?」「私19歳でお見合いです。結婚したのよ」「実は昔教会に行っていたの」など、利用者さんとのコミュニケーションから、施設のデータには書かれていないその人の今までの人生や大切に

介護実習先一覧

3年次(12日間)

NPO法人めぐみの家 工房マナ (障がい者生活介護事業所)
社会福祉法人千葉県福祉援護会 誠光園
(身体障害者療護施設)

NPO法人ホットスペース中原 (障害者共同生活介護)

4年次(24日間)

社会福祉法人八千代城 (特別養護老人ホーム)
ヴィラ大森 (介護老人保健施設)
社会福祉法人筑波キングス・ガーデン (特別養護老人ホーム)
社会福祉法人はなみずき (特別養護老人ホーム)

にできた想いを知ることができました。その中で笑顔を見せてくれる回数もだんだんと増え、信頼関係を築くことができたことはとても感謝でした。このように、福祉の現場での利用者さんとの触れ合いや、実際に生活支援技術を経験することで、今までの福祉の授業での学びを更に深めることができました。最後に、この実習のためにお祈りして下さった方々と神様に心から感謝いたします。

教会 インターン 報告

牧師の働き

大学院教会教職者コース1年 高橋 渉



博士前期課程「神学インターンI」インターン先一覧

新札幌聖書教会、室蘭キリスト教会グロリアチャペル、
日高キリスト教会、習志野台キリスト教会、
いわきキリスト教会、東広島めぐみ教会
(以上、日本同盟基督教団)

千葉ニュータウン・バプテスト教会(日本バプテスト教会連合)
塩釜聖書バプテスト教会(保守バプテスト同盟)
クライストコミュニティ武庫之荘チャペル
(日本福音自由教会協議会)

大阪純福音教会(純福音教団)、
The Cumberland Presbyterian Church、
Jenkins Cumberland Presbyterian Church
(以上、米国)

Danderyds församling教区
The Essinge church of Västermalms församling
(スウェーデン)

この夏、いわきキリスト教会と東広島めぐみ教会へインターン実習に行ってきました。いわきでは、増井恵牧師から、福島第二原発の事故によって引き起こされた様々な問題に対して、牧師としてどう歩むのかを問われたことを伺い、自分だったらどうしていただろうかと考えさせられました。先生ご自身が負われた傷や教会の痛みとともに、聖書に立って生きることを私たちの原則だということとを分かち合ってくださいました。夜遅くまで語り合い、貴重

な学びが与えられました。広島では、加藤勇介牧師のリーダーシップが印象的でした。まず牧師がモデルを示し、それを見てリーダーたちが育っていくことを教えられました。イエスの弟子訓練と同じスタイルだなど思いました。ひとりのために忠実に、謙遜に、忍耐深く、愛をもって仕える姿に感動しました。両教会の兄弟姉妹とも、祈り合い、励まし合い、恵みを分かち合う交わりができたことも感謝でした。

震災ボランティア報告

ふくしまHOPEキャンプ

神学科2年 佐藤 宣愛

「ふくしまHOPEキャンプ」は、大自然の中で思い切り楽しんでもらうことや、日頃の悩みを打ち明けてもらうことを通して、様々な原因でストレスを抱えている福島の子どもたちとその保護者の方々を励ますことを目的としています。

この夏は3人のTCUの学生が参加し、ゲームタイムなどの担当をさせていただきながら、ぶどう狩り・ボート体験・プラネタリウム鑑賞など盛りだくさんの3日間を子どもたちと一緒に過ごしてきました。あまりにも盛り

沢山なので、「子どもたちを楽しませよう」と意気込んでいた私も気づけば、子どもたちの誰よりもキャンプを楽しんでしまっていました。「ボランティアなのに、遊びに来たみたいで申し訳ないなあ」と思いましたが、大人気なくはしゃぐ私につられるように、子どもたちも一緒に楽しんでくれたので、これで良かったのだと思っています。ストレスを抱えている子どもたちには、自然との触れ合いやアクティビティと同じくらい、「一緒に楽しんでくれる人」が必要なのかもしれません。



家族寮リトリート報告

日常を離れて

神学科教会教職専攻4年 小野 淳博

家族寮メンバー16名は8月4日から5日まで千葉県館山市にてリトリートを行いました。得られた恵みを以下3点だけお分かちします。

① 館山聖書教会で牧会をしておられる家族寮OBの李京爽牧師ご家族と5か月ぶりに再会し、同師の姿に力づけられました。夜は、同教会員が営む民宿に宿泊し、格別の対応をいただきました。

② 山口先生引率でキリスト教歴史散歩ツアーが催され、日本宣教のため生涯を捧げた信

仰の先達方の足跡を辿り、その働きに思いをはせました。

③ 山口先生から、今年度寮アーマ聖句(エペソ4章16節)からメッセージいただきました。「家族の中の不一致は驚くにあたらない。だからこそ御言葉の働きがある。キリストの体の成長のため、問題を超え、私たちの様々なかけらが組み合わされてゆく」。その恵みを共に味わいました。

日常の場を離れ、自然を満喫しながら、二つ御言葉をいただく充実した時でした。お祈りくださった皆様には感謝いたします。



2016年度 夏期伝道 報告

仕える ～ All glory to God? ～

2016年度夏期伝道委員会委員長
大学院教会教職者コース1年 宮城 献

いつも祈りと支援を通して夏期伝道を支えて下さり感謝いたします。

今年度の夏期伝道はテーマ聖句としてIペテロ4章7～11節を掲げ、「仕える ～ All glory to God? ～」というテーマのもと活動しました。今年度も多数の教会から派遣応募をいただく中、8つの教会に派遣をすることができました。また今年度は準備中に熊本大震災もあり、祈りに覚えながら、熊本の教会にも夏期伝道チームを派遣することが



できました。学生、教職員含めTCUが一丸となつて行われた夏期伝道でしたが、活動中は大きな事故などなく、無事に終えることができました。活動が最後まで守られたことは、皆様のお祈りとご支援があったからだと思っています。そして何よりも全ての活動の中に、主が共にいてくださると強く思われます。

皆様の夏期伝道へのお祈りとご支援をこれからもお願いすると共に、2016年度の夏期伝道の報告とさせていただきます。

シオン祭 報告

平安の中で

2016年度シオン祭実行委員会委員長
神学科神学専攻3年 福島 信

皆様に支えられ、2016年度のシオン祭も終えることが出来ました。今年の来場者数は約900人にも上ります。多くの祈りがあつたことを覚え、神に栄光をお返ししたいと思います。さて、今回のシオン祭のテーマは「安らぎのすゝめ」でした。マタイの福音書11章28～30節から学内向けのシオン祭Iでは奥山信先生に、一般公開のシオン祭IIでは田中道矢先生にメッセージをしていただきました。忙しい日々の中で神に立ち返り、イエス・キ

リストの平安を得ること。全ての関係者の方々に強いチャレンジが与えられたのではないかと思います。

ミュージックゲストのナイトのライト様、様々な出店団体、全てご奉仕に努めてくださった方々に感謝します。また献金と祈りをもつて支えてくださった諸教会の皆様にも、心から感謝いたします。これからもシオン祭を通して福音が伝えられるよう、どうか続けてお祈りください!





アジア神学の将来 ATA総会に参加して

助教 加藤 喜之

アジアの福音主義神学校の相互認証を行うATA(Asia Theological Association)の総会に参加する機会が与えられました。会場となったのはソウルからバスで二時間ほどの場所にあるチョンシン神学大学院です。総会には、約300名を超える参加者があり、韓国やフィリピンはもちろんのこと、イスラエルやオーストラリアからの参加者もあり、アジアの「広さ」を感じさせられました。多くのプログラムが用意されており、とくに四つの主題講演からは今後のアジアの神学の形成を担っていくという決意が見えましました。ATAの歩みとアジアの神学をその歴史的な文脈で見っていくのはもちろんのこと、宗教学の手法などを用いて自己を批判的に分析しており、真摯さが伝わってきたからです。

同時にプログラム以外の時間でもいくつかの素晴らしい出会いがありました。中でもヨルダンで旧約聖書を教えるパレスチナ人のイマッド・シエハド博士による朝のデポジションのメッセージでは、いかなる苦難の中にあっても神の愛と赦しを見出せる信仰について語られ、個人的にも大いに励まされました。ですが、トラブルがなかったわけではありません。なんと最終日前日に、手違いで泊まっていたホテルを追い出されてしまったのです。泊まる場所も分からないまま二日を過ごし、夜になりバスに乗せられて連れて行かれたのは、ある企業の保養所でした。参加者全員でなかったにしろ、大人の



数の宿泊場所を急遽用意した大会側の苦労もさることながら、苦言ひとつなく笑顔で状況に向き合っていた参加者にも驚かされました。このような練られた品性にもアジア神学の未来を見た気がします。



YLG2016参加報告

助教 篠原 基章

ローザンヌ世界宣教運動・次世代リーダー大会(Younger Leaders Gathering: YLG)が2016年8月3日〜10日にかけてインドネシアのジャカルタで開催されました。様々な宣教の現場で働いている次世代を担う働き人たちが世界各地(160ヶ国)から千人以上集まりました。TCUからは篠原基章、メンターとして倉沢正則(現、日本ローザンヌ委員会委員長)が参加しました。

今大会のテーマは「United in the Great Story」であり、聖書全体を神の宣教の壮大な物語として捉え、現代の宣教活動はその神の宣教の物語に付随すると共に、それに参与していくことであることを再確認する機会となりました。また、今大会の目的は「Connect」(つながる)であり、神の宣教の大いなる物語の中で互いに結び合わされていくことの重要性を感じることができました。この大会を通してコネクトすることができた方々との関係を育み、今後の働きに生かしていきたいと思わされています。

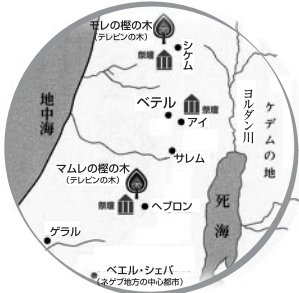




発掘現場見学会



発掘現場での作業



ベテルにおける発掘調査を開始して今年で5年目となります。パレスチナ自治政府と慶應大学を中心とする合同調査隊に当初から私も参加が許され、現場でのスーパバイザーとして発掘に関わってきました。一昨年までは主に青銅器・鉄器・ローマの各時代の墓所発掘を担当し、族長時代とユダ王国時代の痕跡を明らかにするとともに、キリストの時代にはベテルに相当規模のユダヤ人共同体があったことを考古学的に初めて確認することができました。



ビザンチン時代の教会のモザイク



ビザンチン時代の教会のモザイク



ベテル発掘調査

准教授(神学科長)

菊池実



5月30日から6月3日まで、韓国・天安(チョヨン)市ソウルの南約80キロメートルにあるベクソク大学で開かれた第八回IAPCHE(International Association for the Promotion of Christian Higher Education「邦名無し、中国語では国際基督教高等教育協会」)に参加しました。テーマは「グローバル化時代のクリスチャン高等教育の強化」。

留意すべき問題として挙げられたのは次の4点でした。

- ① Massification 誰もが大学に行く時代、大規模授業が増加。その弊害に注意すべき。
- ② Technological revolution 目覚ましい技術革新は、高等教育の有り様をも変えている。インターネットにより地球規模の教育が可能になる中、多様な価値観をどう扱うかという問題が発生。
- ③ Instrumentalization 自国の経済成長のため、人格教育・教養教育を犠牲にしてまで、即戦力となる職業人・スキルの養成を求める傾向が著しく増加。
- ④ Secularization 高等教育の必要と同時に多様な宗教に直面する政府は、教育の内容や教育機関の認定を世俗の標準に訴える。

御国に国籍を持つ者として、このような傾向にどう対処して行くかが話し合われました。



IAPCHE参加報告

助教 デイビッド・サイツマ
(翻訳・柳沢美和子 准教授)

夏期 教会音楽 講習会

『繋げる』

— 世代を超えて伝えていきたいこと —

教会音楽講師 内藤 真奈

去る7月21日～23日、第45回夏期教会音楽講習会が開催されました。開会礼拝では小林高德学長に「本当に大切なもの」と題して説教を、山口陽一先生に表記の題で主題講演をしていただきました。ランドル・ショート先生による「ヘンデル《メサイア》第三部～音楽に表されている福音」の講演は最終回。それぞれ大変内容の濃いものでした。今年二回目となったアンサンブルでは、それぞれがアンサンブルを創り上げていく喜びを共有しつつ、「音楽の花束コンサート」において発表の時を持ちました。

各実技レッスン、合唱では、講師の先生方の熱いご指導を受けながら、受講生の方々が熱心に学ばれました。特に、閉会賛美礼拝では伝統的な曲と共に、岩渕まこと先生の『God Bless You』を合唱で賛美し、祝福の内に会を終えました。講習会の内容詳細は、2017年3月発行予定の『礼拝・音楽研究第66号』に掲載されますので、ぜひお読みください。

来年度はぜひ、教会の奉仕者はじめ、お知り合いの方々にもご参加を促していただければ幸いです。



日本 伝道会議

日本伝道会議に参加

大学院神学研究科委員長 山口 陽一

9月27日～30日、第6回日本伝道会議が神戸コンベンションセンターで開催され、本学からも11名の教職員と11名の学生が参加しました。クリストファー・ライト師の4回の講演は聖書的な包括的福音宣教、これをコイノニアグループに分かれて聴くフラットな会場は、大いに盛り上がり終始にぎやかでした。本学の日本宣教リサーチは「日本宣教200➢200」プロジェクトに参加し、『データブック 日本宣教のこれからが見えてくる』(いの

ちのことば社)を出版。共立基督教研究所は分科会「教会のソーシャルキャピタル(社会関係資本)としての公共的役割」を行いました。「聖書信仰の成熟を求めて」、「日本社会と宣教: 地域に開かれた教会に向けて」、「教会の誠実さへの変革」の各プロジェクトに山口陽一、井上貴詞、岩田三枝子が参加し、会場には大学のブースを置きました。全国で活躍する多くの卒業生と再会を喜び、励ましを受ける幸いな4日間でした。



クリスチャン新聞提供



クリスチャン新聞提供



TCUブースの様子

新刊
紹介

『データブック
日本宣教のこれからが見えてくる』

— キリスト教の30年後を読む —



第6回日本伝道会議
「日本宣教170➢200プロジェクト」編著
いのちのことば社発行
定価1,900円＋税

この本は、第6回日本伝道会議「日本宣教170➢200プロジェクト」の働きとして、今年がベッテルハイムの琉球伝道から170年であることから、これまでの

日本宣教の推移と現状を明らかにし、宣教200年に向けて、これからの30年を展望するために必要な基礎的なデータを集め、日本伝道会議における各プロジェクトのテーマの議論に役立つ基本資料を提供することを目的として編集されたものです。従って、日本宣教に関わる教職者・信徒の必携書として、第6回日本伝道会議が後世に残す記念物となるものです。

『聖書の世界』（仮題）

菊池 実 著

CS成長センターの「成長」誌に十年に亘り「聖書の世界」を連載し、特集記事を併せて四十二本の記事を執筆してきました。イスラエルでの経験は通算7年になり、現在も毎年渡航します。そこで小さな経験から歴史、信仰、自然と地理、考古学、言語、ユダヤの文化などを通して表現された今も肌で感じる聖書の世界を紹介したいという願いがいつもありました。今回拙い文章ながら、いのちのことば社から出版の運びとなり準備中です。（菊池）

『「震災と信仰調査」報告書』

大友幸一、柴田初男、ヒューレットえり子編著
TCU国際宣教センター日本宣教リサーチ発行
定価 1,000円＋税



この本は、東日本大震災後になされた復興支援活動や宣教活動の記録をアーカイブス（記録文書）として残すと共に、震災がキリスト教会の宣教のあり方や個人的な信仰面にどのような影響を及ぼしたのかを、アンケート調査やインタビュー調査を用いて様々な角度から調査し、もって宣教学的、神学的、社会的、心理学的研究の基礎データを得ることを目的に、昨年1年間、「宮城宣教ネットワーク」の宣教活動を調査した報告書です。

クリスチャン
新聞にて
井上貴詞
准教授が連載

「良き訪れをたずさえて
～地域の福祉を担う～」

クリスチャン新聞9月25日号から井上貴詞准教授の連載「良き訪れをたずさえて～地域の福祉を担う～」がスタートしました。

福音宣教の最前線である教会の働きとして位置づけられた福祉のミニストリーや教会と密接な連携にある比較的小規模な福祉のミニストリーを紹介しています。井上准教授の熱心な現地取材によって毎週ボリュームある記事が掲載されています。福祉ミニストリーに導かれた背景や使命、そこにいる人に仕える教会の歩みがとても分かりやすく書かれています。そして社会福祉の専門家である井上准教授の視点から問題提起がなされています。ぜひお読みください。

ACTS・EAI
新入生



秋入学生と短期留學生が加わりました

今年も秋入学のACTS-ES生と協定校からの短期留學生（EAI生）がキャンパスに加わりました。ACTS-ES生は米国、ケニア、ジンバブエ、インド、ネパール、インドネシア、韓国そして日本から10名が1年生に入学し、ブルガリアから1名が2年生に編入学しました。EAI生は米国の協定校7校から15名が秋学期の1学期間キャンパスで学びと生活をともにしました。

また、秋学期は留學生が急増し様々なケアが必要になるため、様々な国籍からなる在學生チームがイベントを企画したり、交わりを促したりして奉仕しました。また家族寮の夫妻（夫：米国人學生、奥様：日本人看護師）が「新留學生ヘルス・サポーター」として彼らをケアしてくれました。



卒業生からの 手紙



(筆者:右から2人目)



この町にはわたしの民が

TCTS1999卒(真示)・2000卒(桂)
同盟福音基督教会岐阜キリスト教会主任牧師(真示)・教育主事(桂)

川村真示・桂

なつかしい母校のみなさま、こんにちは。

私たちは共にキリ神で学びました。卒業後真示は3年間ドイツの神学校で学び、桂は2年間タイ宣教に派遣され、2002年に結婚し主人の母教会でもある岐阜キリスト教会に遣わされました。美しい山々と清流に囲まれながら「福音の谷間」と言われる教会の少ない岐阜での働きも、15年目を迎えました。3人の子育てをしながら、「岐阜市と瑞穂市に輝く地域に根ざした教会」というビジョンのもと、ふたつのチャペルで宣教のために駆け抜けた14年でした。

教会は3年前に50周年を迎え、教会のない周辺市町村へとさらに出て行くチャレンジを受けています。年若く経験のなかった牧師夫妻を見守り共に労して下さる兄弟姉妹に感謝します。困難な道を通された時、織田信長の居城でもあった岐阜城にのぼり、岐阜の街を見渡して祈ったことがありました。「恐れなくて語り続けよ。この町には私の民がたくさんいる。」との語りかけを頂き、涙と共に山を下りたことは忘れられない思い出です。主の宣教のわざに加えていただけることが私たちの喜びです。

卒業生のみなさまのご活躍にいつも励まされ、勇気をいただいています。岐阜にお越しの際はぜひお立ち寄りください。(桂記)

2009年東京基督教大学卒業

Pastoral staff, Kurume Bible Fellowship **Sunil Pradhan**

“And we know that in all things God works for the good of those who love him, who have been called according to his purpose.” Romans 8:28 NIV

And this is true for me. Praise God!

I came to Japan from Nepal in 2005. Through TCU God provided me with a great education from dedicated and God-fearing teachers. In my 4 years at TCU, I had friends who loved and cared for me, with whom I could not only share the things I learned in class but everything. I am thankful for the opportunities to build relationships and friendships that will last forever.

After graduating in 2009, I went to Suwa, Nagano for a year working as an English teacher at an English cram school. Then I served at Kurume Bible Fellowship as the youth pastor for 2010-2015. Now I am serving as one of the pastoral staff.

I also started attending Bible Study Fellowship since 2011. It is well organized and disciplined study of the Bible. I was a member for 2 years and then called into leadership in 2013. I served as a children's leader for 2 years. Now I am a group leader serving men. I recommend this.

I plan to go back home for good in August 2017. But I pray that the LORD's will be done in my life.

2005年にネパールから来日し、TCUで熱心な先生方から素晴らしい教育を受け、何でも分かち合える一生の友を得ることができたことを感謝しています。

卒業後は、英語教師を経て、久留米バイブルフェローシップのユースパスター、牧会スタッフの一員として奉仕しています。またBible Study Fellowshipという、聖書を体系的に学ぶ交わりに加わり、グループリーダーとして仕えています。

2017年8月には帰国予定ですが、主のみこころがなるようにと願っています。

支援会ニュース

TCU支援会 / 〒270-1347 千葉県印西市内野三丁目301-5
TEL:0476-46-1131 ● FAX:0476-46-1405 ● E-mail tcu@tci.ac.jp

地区支援会活動報告

福岡・山口 地区 支援会

福岡めぐみ教会牧師

入江 喜久雄



去る9月17日、19日と山口陽一教授を迎えて「平和をつくるものは幸いです。」「マタイ5章9節Aのテーマのもと、門司の北九州コミュニティチャペルと福岡めぐみ教会の二会場で開催が行われました。教団教派を超え、教師、信徒の方々が集われ盛会でした。二つ目の集会では「日本と教会の悔い改めと平和」で、戦争回避のために努力したキリスト者とその信仰、満州の熱河省で伝道した沢崎堅造の生き様に信仰が燃やされました。

二つ目の集会では戦時下に迫害を受けた「耶穌基督之新約教会(代表、森喜四郎)への弾圧とその信仰」を学びました。ローマ13章1節とモーセの十戒の二戒の解釈、その教会の信徒の弾圧、主イエスが神であり、天皇は人間であるとの明確な信仰告白に基づく妥協しない信仰者達の存在は大きな励ましとなりました。現代、闇の時代に教会は聖書に堅く立ち、光であるキリストを宣教し続けなければならぬと強く思わされました。

北海道 地区 支援会

新札幌福音教会牧師

野口 隆英



10月8日、10日、中澤秀二教授にお越しいただき、栄福音キリスト教会(IECA)、ぶどうの木キリスト教会(単立)、もみじ台オアシス教会(同盟)を会場に、講演会とTCUの集いを行いました。

最終日のTCUの集いでは「福祉と教会―被介護者と介護者の隣人として―」という演題から、前半は中澤先生の巨人軍時代の経験とその後への信仰への導きをお証しくいただき、後半は介護される人へ寄り添うことの大切さ、介護する人が燃え尽きないようにするための注意点などを教えてくださいました。今回は福祉に興味のある方、実際に携わっておられる方が多く参加され、のべ60人が集いました。1961年に卒業された大先輩が駆けつけてくださることも感謝です。当地区の課題は遠距離からの参加が難しいことです。今後は道内数カ所に支部を設置し、学園デララーが行えるよう検討しています。北海道からTCUへ多くの学生を送り出すことが願いです。

祈りのコンサート

10月10日シオン祭において、今年度もTCU支援会主催で祈りのコンサートが行われました。今年度はゲストにTCU卒業生のコーラスグループ「LYRE」をフルメンバーで迎えてのコンサートとなりました。会場となった国際宣教センター館は、立ち見のみならずイスとイスとの間に座らないと入りきれないほどの超満員に膨れ上がりました。

6人が織りなすハーモニーと旋律の美しさはもろろのこと、それぞれが卒業してからもこれまで歩んで来た決して平たんではない道のりが、その歌声を通して語られ、神様の導きと恵みへの感動に包まれました。

そして来場者とともに、同じように葛藤を覚えながらも主を見上げ働いている卒業生のため、TCUで学びこれから巣立っていく在学生のために、祈りをささげることができました。



LYREメンバー:左から青木信太郎、小山晶子(旧姓:佐竹)、松浦千登勢(旧姓:具志堅)、飯塚めぐみ、塚田献、宮脇栄子(旧姓:若林)

寄付金控除のご案内

本学の「明日の世界宣教者育成募金」への寄付金(献金)は、税制優遇措置の対象となり、所得税の寄付金控除と個人住民税の控除を受けることができ、献金額の最大50%が控除されます。

所得税の寄付金控除

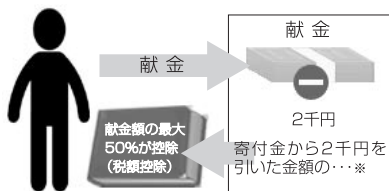
所得税の寄付金控除には、「所得控除」か「税額控除」のどちらかをお選びできます。

所得控除(従来の制度):

献金額(所得の40%が限度)-2千円を所得から控除

税額控除(新制度):

[献金額(所得の40%が限度)-2千円]×40%を所得税額から控除(所得税額の25%が限度)



※最大50%の控除は、千葉県印西市にお住まいの場合です。(税額控除40%+千葉県指定県民税控除4%+印西市指定市民税控除6%)

税額控除は、すべての寄付先への制度ではなく、東京キリスト教学園がその寄付先として認可を受けています。税制優遇の幅は、大学への寄付金に関して現行制度上で最も手厚くなっておりますので、ぜひご利用ください。

ご不明の点等、お住まいの市区町村役場または本学募金係まで、お気軽なお尋ねください。

自動引落での献金のご案内

TCUへの献金はクレジットカードからの自動引落が便利です。「毎月」「年2回」「毎年1回」の献金を選ぶことができます。

クレジットカードからの自動引落は本学ウェブサイト

(<http://www.tci.ac.jp/support/web/>)から

お申し込みください。

その他にも、ゆうちょ銀行による自動引落しをご希望の方は、必要書類を送付しますのでお問合せください。

お問い合わせ先

TCU支援会 〒270-1347 千葉県印西市内野3-301-5

Tel.0476-46-1131 (9:00~16:45土日除く)

Fax.0476-46-1405 E-mail:shien@tci.ac.jp

『明日の世界宣教者育成募金』の感謝報告

2016年度(2016年4月~2017年3月)の『明日の世界宣教者育成募金』は、10月末までに758の支援者より、3,864万円のご支援をいただきました。心より感謝申し上げます。TCU支援の輪を広げるために友人・知人にもご入会をお勧めいただければと願っています。新規、継続のご支援をよろしくお願い致します。

献金感謝報告

尊いご献金とご加禱ご協力に、心から感謝と御礼を申し上げます。ここに2016年6月1日から2016年10月31日までの献金者のご芳名を感謝をもって報告致します。(敬称略)

大学献金

Onnuri Community Church Japanese Service / TCU同窓会 / 愛知泉キリスト教会 / 愛のキリスト教会 / 青葉台教会 / 青森福音キリスト教会 / 赤塚バプテスト教会 / アジア神学協議会日本支部 / 足立キリスト教会 / 渥美キリスト教会 / 我孫子栄光教会 / 安城中央キリスト教会 / 五十嵐キリスト教会 / 生駒めぐみ教会 / 潮来教会 / 市川北バプテスト教会 / 宮望みキリスト教会 / 伊那聖書教会 / 祈りのコンサート / 茨木聖書教会 / いわきキリスト教会 / 磐田キリスト教会 / 浦和福音自由教会 / 海老名シオンの丘教会 / 大野キリスト教会 / 大森聖アグネス教会 / 岡山地区学園 / 岡山めぐみキリスト教会 / 桶川福音自由教会 / 春日部福音自由教会 / 交野キリスト教会 / 片柳福音自由教会 / 勝田台教会 / 金沢中央教会 / 株式会社清水商会 / 株式会社本宮建設 / 株式会社イチカン / 株式会社ノア / 上大岡聖書教会 / 亀田キリスト教会 / 軽井沢キリスト教会 / 川越福音自由教会 / 岸和田聖書教会 / 衣笠中央キリスト教会 / 岐阜キリスト教会 / 清瀬グレースチャペル / 久喜福音自由教会 / 国立キリスト教会 / 熊本北聖書キリスト教会 / クライスストコミュニティ / クライストコミュニティ / 東神戸リバイバルチャペル / 久里浜福音教会 / 久留米聖書教会 / 高知喜びキリスト教会 / 国分寺バプテスト教会 / 児玉福音自由教会 / 佐倉王子台チャペル / 佐渡金井キリスト教会 / シオン祭TCU支援会 / 志賀キリスト教会 / 四国地区学園 / 静岡サミル聖書教会 / 静岡めぐみ教会 / 静岡新生キリスト教会 / 自治医大前キリスト教会 / 渋谷教会 / 子母口キリスト教会 / 下馬福音教会 / 自由ヶ丘めぐみ教会 / 招待キリスト教会 / 新鎌ヶ谷聖書教会 / 新船橋キリスト教会 / 新松戸キリスト教会 / 新松戸福音自由教会 / 菅生キリスト教会 / 杉並教会 / 逗子福音教会 / ゼエバンゼリカル・アラリアンス・ミッション / 聖書キリスト教会 / グレイスホーム / 世田谷中央教会 / セント国際宣教団 / 草加福音自由教会 / 高田ファミリーチャペル / 高槻福音自由教会 / 高松キリスト教会 / 高松シオン教会 / 辰口キリスト教会 / 館山教会 / 玉川上水キリスト教会 / 玉の肌石鹸株式会社 / たまプラーザキリスト教会 / 千葉北総教会 / 津田沼教会 / 手打ち蕎麦亭なるほ / 東京国際基督教会 / 東御キリスト教会 / 東林聖書キリスト教会 / 所沢聖書教会 / 豊川中央キリスト教会 / 豊栄キリスト教会 / 豊橋ホサナキリスト教会 / 長野福音教会 / 流山福音自由教会 / 名古屋西福音自由教会 / 名古屋福音自由教会 / 並木キリスト教会 / 成瀬教会 / 新津福音キリスト教会 / 二宮山西キリスト教会 / 日本キリスト合同教会事務局 / 日本聖契キリスト教会 / 日本聖約キリスト教会 / 日本長老教会 / 日本長老教会神奈川中会 / 日本同盟基督教団 / 日本同盟基督教団信州宣教区 / 野方ウエスレアン・メソヂスト教会 / のびどめキリスト教会 / 波崎キリスト教会 / 蓮沼キリスト教会 / 鳩ヶ谷福音自由教会 / 浜田山キリスト教会 / 浜松中沢教会 / 東吾野キリスト教会 / 東久留米泉教会 / 東広島めぐみ教会 / 東大和刈穂キリスト教会 / 光の森聖書教会 / ひたち光教会 / 日立福音キリスト教会 / 福岡・山口地区学園 / 福岡めぐみ教会 / 仏子キリスト教会 / 府中西原キリスト教会 / 平和台教会 / 螢池聖書教会 / 本郷台キリスト教会 / 真砂バプテスト教会 / 松原聖書教会 / 馬堀聖書教会 / みことば福音教会 / 南柏聖書教会 / めぐみの丘チャペル / 恵みバプテスト教会 / 盛岡みなみ教会 / 八街福音キリスト教会 / 八千代聖書教会 / 大和郡山めぐみ教会 / ゆりのきキリスト教会 / 横浜キリスト福音教会 / 横浜シオンキリスト教会 / 横浜白山道教会 / 横浜山手キリスト教会 / リビングチャペル / 蕨福音自由教会 / Jae Hoon Lee / Min Kang / Clovis Mebrnaji / Oiko / Medina Bushuru Maraka / 徐有珍 / 青木俊介 / 青木真知子 / 青島恒宣 / 青山田鶴子 / 赤江昭代 / 赤江弘之 / 赤穂芳子 / 安黒拓人 / 浅井秀穂 / 朝岡満喜子 / 朝岡勝 / 安海和宣 / 由紀子 / 阿部伊作 / 阿部大・美歌 / 荒井創 / 新井竜治 / 有泉博子 / 安西愈 / 安藤千恵

安藤博之/李京爽/匿名/池上王士/桃
子/池田アイ/池田昌弘/澤/池田雄一/詩
保/石井由紀/石原美智子/和泉ミツ/和
泉福音教会/伊藤明生/伊藤天雄/伊藤心
さ江/稲垣久和/犬塚契/利奈/井上和夫
米子/井上聡/直子/井上志乃/井上洋治
由枝/井原博子/今井一夫/今田和子/入
江喜久雄/直美/入江賢美/岩田順也/岩
田三枝子/上田利昭/上野優佳子/内野雅
之/稔子/宇内千晴/古林正語/大内卓也
美樹/大下由利子/大島久子/大嶋義隆
大杉至/太田雅恵/大高市子/大瀧忠理也
和子/大塚史明/大橋秀夫/大村武かお
り/大森菜奈子/大森幹夫/岡忠義/岡光
子/岡由美子/岡田雄/岡村又男/末子
岡森雅浩/ゆかり/小川政弘/奥村喜樹/和
子/奥山礼子/小此内慎悟/小笹崇代/小
澤紘一/才三/鬼塚弘通/啓子/小野幸信
子/小町継太/小町誠一/表川幹雄/織作恵
子/鍵合恵子/影山範文/片岡政子/加藤
国廣/博子/加藤恵子/加藤富男/門田優
子/金岡大二郎/金子寿子/川崎晴美/川
島敬子/川島祥子/川嶋良治/川元久美
神田結実子/木内伸嘉/菊池美/菊池良
真恵美/岸幸恵/北見ミチ/木戸岡けい
子/木下幸治/木下美鈴/木藤光子/金安信
裕子/栗田義裕/黒川知文/匿名/桑原淑
行/賢賀英郎/小池宏明/紀子/古川和男
國分正子/小暮与作/道子/小崎啓子
越石利明/小嶋淑子/児玉武志/直子/児
玉光/照恵/児玉博之/喜代子/後藤ヨシ子
後藤玲子/後藤弘/小林清/小林高徳
小林充尚/壽子/小林規子/小林宮子/小
林悠/小堀通/滋子/匿名/小和田幸平
齊藤明夫/斎藤和己/斎藤潔/ますみ/佐
川英美/先崎栄吾/佐久間章/櫻井菊子
笹川雅弘/佐々木望/佐々木保雄/佐藤孝
郎/佐藤ひろ子/佐藤征江/沢谷千代子
塩見知司/塩見治子/匿名/信太郎一/篠
原基章/柴田初男/柴田美枝子/島田務
弥生/島田治夫/嶋田玲子/匿名/清水尚
子/下田博文/白倉まり子/白垣千鶴子
菅谷敬子/菅谷のぞみ/菅原好江/杉谷乃
百合/薄佳志子/鈴木七絵/鈴木政則/鈴
木美絵/鈴木陽一/鈴木洋子/ステパハ/フ
ランクリン/関野祐一/妹山訓子/千田由
美/仙浩一/高木弦/高瀬真/貴子/高取

直子/高橋篤/高橋拓也/高橋信希/高橋
伸幸/高橋道子/高橋めぐみ/高橋泰子
匿名/竹内豊志/竹内昌子/竹西順子/竹
本喜代子/多胡真太郎/建部玲子/立山剛
田中恭子/棚橋ひとみ/谷本栄治/澄江
谷本芳也/田淵健郎/匿名/田村誠喜
田村勉/丹下典子/千葉秀悦/チユアめ
ぐみ/塚田浩司/塚田真理子/辻智恵/匿
名/辻本文子/坪谷芳和/土居弘幸/時田
敏彦/匿名/富俣子/富所正史/外山節子
内藤真奈/長井明夫/みえ子/長石寛
中尾芳也/啓代/中川久恵/中川祐治/中
川洋佑/麻祐/中嶋活生/中島伸一/中島誠
中田昭子/長田清子/中田裕也/仲地完
長友信子/永山治/中山良男/那須正紀
並木公子/並木孝之/成澤希子/南村
かおり/西操/西内学/西村敬憲/麻利子
西山幸子/根本信子/根岸幸加/野口忠
子/野口誠/野島EUNSOO/聖美/野瀬
裕志/野地本真未/萩原孝/蓮井智子
蓮尾英二/長谷川利保/長谷部秀英/畑和
雄/服部真光/千香子/馬場千晶/林明信
早見友雄/美江/原豊人/千春/原田性座
耶/比嘉恵美子/東中喜郎/菱沼多美子
日名信介/平川江美/平塚治樹/平原ま
こ/廣瀬薫/美穂子/廣橋嘉信/フィリップ
フオクスウエル/福井誠/福原桐子/藤井
正男/藤田正/藤田直樹/藤原真規子/藤
原美佐子/淵上律子/淵野弘司/文野愛子
古川弘幸/北條恵/ボージュエ安子/星
野良子/星山正一/英子/細谷潔/紀弥/細
谷クワラ/本間昭弘/芳子/本間邦/本間
恵子/本馬信義/匿名/前田倫男/牧野春
枝/増淵正恵/松尾美代子/松田信一/松
田節子/松永優/順子/松原正幸/松村良
子/丸山園子/圓山友子/万城栄治/久美
子/万城紘一/啓子/三浦称/聖子/三川克己
三川京子/三木貞夫/溝口昌樹/三谷康人
三宅献/三宅聖子/三宅章之/宮腰貞子
宮崎契一/宮本京子/宮脇聡史/宮脇星
児/栄子/虫明英雄/匿名/虫明令子/村
瀬俊夫/森恵子/森川直子/森田和子/森
田哲也/森本文子/森本祥子/森本信幸
麻子/森山洋子/八木保夫/律子/矢口美
和子/安永直美/矢田信雄/和子/谷中清
子/柳沢美和子/柳下弘/数田三保子/山
内慎也/山内史奈/山岡勝次/山川暁/山
口尚美/山口陽一/山下広文/山田怜/大

和昌平/山本明子/山本和義/横田義弥
横山武/吉田隆/智恵子/吉田雅尚/吉田
満知子/吉永啓次/あや子/吉原さつき
吉持章/吉持日輪生/李相勇/劉芽久美
脇坂誠一/千斗/和田二郎/栄子/和田紘一
渡辺真理子/和智智絵

枝川愛の教会/鴻巣福音自由教会/千間台
キリスト教会/津豊ヶ丘キリスト教会/東
京国際基督教教会/東大宮福音自由教会/み
ことば福音教会/盛岡みなみ教会/阿久津
康彦/荒井創/新井竜治/伊藤天雄/岩田
順也/宇内千晴/川島敬子/神田結実子
菊池実/小林高徳/宮子/櫻井菊子/篠原
基章/柴田初男/武田順児/田中幸子/中
山良男/野島EUNSOO/聖美/馬場千晶
浜島敏/早川佳枝/堀内亨祐/山口陽
一/大和昌平

あらか野キリスト教会/柏キリスト教会
志賀キリスト教会/波自由ヶ丘めぐみ教会
千葉栄光教会/筑波めぐみ教会/蓮沼キ
リスト教会/屋下がりのコンサート/菅田
キリスト伝道所/みふみバプテスト教会
八街栄光キリスト教会/横芝キリスト教会
伊藤天雄/岩田順也/宇内千晴/大高市
子/大瀧忠理也/和子/大竹海一/紀子/加
藤恵子/川島敬子/川元久美/神田結実子
菊池実/木下トウ/君塚光治/倉沢正
則/多美子/小林高徳/宮子/篠原基章/高
取直子/武義和/匿名/富所正史/内藤真
奈/早川佳枝/平野雅子/松永優/順子
溝口昌樹/匿名/山内史奈/山口陽一/大
和昌平/山本弘史

OMFザ・チャペルオブ・アドレシオン/潮
来教会/茨木聖書教会/小倉台キリスト教
会/春日井神領キリスト教会/久遠基督教
会/久我山キリスト教会/佐倉王子台チャ
ペル/鹿本キリスト教会/新宿シャローム
教会/草加福音自由教会/玉川上水キリス
ト教会/千葉ニュータウン・バプテスト教会
チャペル献金/津田沼教会/蓮沼キリス
ト教会/富津教会/横浜キリスト福音教会
生亀俊一/美代子/伊藤天雄/古林正語

大学院設立献金

異文化実習支援献金

教会音楽献金

教会教職者志望学生奨学金基金

留学生奨学金基金

夏期伝道献金

学校法人東京キリスト教学園
明日の世界宣教者育成募金
〇〇一〇一五五七五六四八

Information

所…会場 日…日時 講…講師 料…受講料
問…問い合わせ先 申…申し込み先

オープンキャンパス

宿泊をご希望の方は一泊まで無料で寮等に宿泊できます。
また定期的に教会に通っている方で、全てのプログラム参加者に交通費の補助を差上げます。是非ご参加下さい。

日 1月21日(土)、3月25日(土)
5月12日(金)～13日(土)

一泊宿泊型オープンキャンパス

内容 学部・学科説明、在学生によるTCU紹介、
キャンパスツアー、
模擬授業、学費・奨学金・入試ガイダンス、個別面談

問 申 本学ウェブサイトからお申し込み下さい。
教務課入試担当(0476-46-1131)



昨年の一泊オープンキャンパス

FCC教会教職特別セミナー

① 「くあの日」以後を生きる震災から5年9ヶ月」

日 12月12日(月) 13時00分～15時30分
講 朝岡勝氏(日本同盟基督教団 徳丸町キリスト教会牧師)

② 「関係育てる結婚カウンセリングプログラム
PREPARE・ENRICH」

日 1月23日(月) 13時00分～15時30分
講 西岡まり子氏(日本ホーリネス教団 川越のぞみ教会牧師)

③ 「教会暦(仮)」

日 2月6日(月) 13時00分～15時30分
講 坂本誠氏(日本同盟基督教団 愛知泉キリスト教会牧師)

所 国際宣教センターチャペル
料 一般2,000円
支援会員1,000円(当日入会可)

申込内容 ①氏名②電話③E-mail④所属教団・教会名
申込締切 ①12月7日(水) ②1月18日(水) ③2月1日(水)

申 E-mail:fcc@tci.ac.jp Fax:0476-31-5521

希望が丘エクステンション

「主にある交わり」

講 大和昌平本学教授、山口陽一本学教授
日 1月28日(土)①②、2月4日(土)③④ 9:30-15:30

講義内容(全4講義)

- ① 「世間からコイノニアへ その1」(大和)
- ② 「世間からコイノニアへ その2」(大和)
- ③ 「D.ボンヘッファー
『共に生きる生活』に学ぶ その1」(山口)
- ④ 「D.ボンヘッファー
『共に生きる生活』に学ぶ その2」(山口)

所 キャンバード長老キリスト教会 希望が丘教会
料 一括8,000円(一講義2,500円)

申込締切 1月17日(火)

申 教務課 希望が丘エクステンション係
電話:0476-46-1131 FAX:0476-46-1405
Eメール:extension@tci.ac.jp
ウェブサイト申込フォームからも可能です。

卒業・修了記念コンサート

日 2月17日(金) 午後7時～

所 チャペル
料 入場無料・申込不要

問 教務課(s-music@tci.ac.jp)

春期卒業式・入学式

春期卒業式

日 3月10日(金) 13時30分～

入学式

日 4月5日(水) 13時30分～

問 総務課(soumu@tci.ac.jp)

編集後記

サッカーW杯アジア最終予選で日本はグループ2位で前半を折り返すことができました。サッカーでは「個の力」を伸ばすことでチームが成長すると言われています。今夏、学生も教員も国内外での学びや活動を通じて、「個の力」を伸ばす経験をしました。TCUが神の国の働きにますます用いられるために、主から与えられている「個の力」である「賜物」が組み合わせられて「キリストの体」として成長するTCUとなれたら、そんな風に思いました。(N)